

## 平成30年5月開催 福部地域振興会議議事概要

日時 平成30年5月18日（金）13：30～15：20  
会場 福部町総合支所2階大会議室  
出席委員 南部敏、上山弘子、坪内悟、山本輝彦、小谷孝文、岸本正枝、濱田香、西尾祥幸、平田正雄、若狭さつき、早島岳大（順不同敬称略）  
出席者 鳥取砂丘砂の美術館館長、鳥取砂丘・ジオパーク推進課課長補佐、同主事  
事務局 支所長、副支所長兼地域振興課長、産業建設課長、市民福祉課長、地域振興課課長補佐

### ○ 意見交換

#### 鳥取砂丘砂の美術館の取り組みについて

会長：前回、砂の美術館での地元野菜の取り扱いについて皆さんから意見をいただいた。本日は砂の美術館館長と担当課にご出席いただいているので意見交換したい。今後の計画策定の参考にさせていただきたい。

出席者：全国公募による選考で砂の美術館の新たな指定管理者を決定した。現在、入館者数の増加、地場産品による物産販売の強化、地域との連携などの取り組みを進めている。今年のゴールデンウィークの入館者数は昨年とほぼ同じだったが、物販は倍増した。

出席者：今年ゴールデンウィークは商品棚の見直しを行ったり、観光客の動線上に看板を設置したり、屋外販売を増やすなどした。今後も子どもを対象にしたイベントを継続的に行なうなどして、地元のリピーターを増やしていきたい。

委員A：砂の美術館のマルシェは、地元で野菜を生産しているお年寄りの生きがいになるような場所にしてほしい。

出席者：砂の美術館で取り扱う野菜は、できれば全て地元産にしていきたい。地域の皆さんと良い関係を築いて、安全安心で美味しい野菜を県外から来られるお客さまに提供できるようにしていきたい。

委員B：物販の強化について、周辺の他店との関係をどう考えているか

出席者：周辺の他店とも協力しながら良い商品を揃えていきたい。鳥取砂丘全体の入込客減に連動して砂の美術館の入館者も減少している。砂丘全体で盛り上がらなければ、今の減少傾向に歯止めはかからないと考える。

委員C：以前、砂の美術館に野菜を出したことがあったが、手続きが面倒で一度でやめた。

出席者：出品手続きは簡素なものに見直した。今後も門戸は広げていきたい。地元でも商品を集約する取り組みをしていただければありがたい。

委員D：砂の美術館は、もう少し夜間営業や地元のアイデア館との連携を強化してほしい。

会長：地域としても砂の美術館の新たな取り組みを応援していきたい。鳥取市に対しては砂丘全体の入込客数の減少傾向を何とかしてもらいたい。

出席者：砂の美術館を今後も地域の皆さまのご協力により良い施設に育てていただきたい。砂丘全体の入込については、市としてもPRの方法を再検討する時期に来ていると考えている。ご意見は持ち帰らせていただき今後の取り組みの参考とさせていただきたい。

## ○ 議 題

### (1) 福部町のまちづくり構想の推進について

**事務局**：構想を実現するためには、構想に記載の7つの課題を施策の柱とした基本計画と実施計画を策定する必要があります。

**委員E**：居住促進の取り組みとして、移住候補先は決まっているか。

**事務局**：具体的な移住候補先はまだ決まっていません。

**会 長**：居住促進の取り組みは今後、高齢化の進行によりますます必要となってくる。治水対策や防災対策も必要と考える。昨年度は構想を策定するとともに新たなインターチェンジの設置について要望書を市と県に提出した。構想を実現するためには、今後、専門的な組織や町民の皆さんからの署名も必要と考える。

**委員C**：町内移動手段の改善として、地元の特産品をかたどったバス停を設置してはどうか。また、らっちゃんバスの利用を促進するため、バスの中に町民の絵や花を飾ってみてはどうか。

**事務局**：構想を実現するための計画策定に向けて、専門的組織の必要性や既存の各種計画との関係について整理するとともに、ご提案のバス停やらっちゃんバスの取り組みについても、他市の取り組みなどを調べて次回、資料提供します。

### (2) 平成30年度福部地域振興会議の視察行程案について

**事務局**：前回、兵庫県養父市の国家戦略特区（中山間農業改革特区）を視察することとしましたが、午前には養父市役所本庁舎を、午後には民間特区事業者と大屋地域局をそれぞれ視察させていただくことになりました。民間特区事業者につきましては、一部の委員よりご助言をいただき兵庫ナカバヤシ株式会社を選定させていただきました。

**委員F**：兵庫ナカバヤシはもともと製本会社だが、にんにく生産を行うことで、工場の繁閑期の平準化に成果をあげている。福部町のらっきょう生産も繁忙期の人員確保に苦勞しているが、企業との連携で解決に向けたヒントが見つければと考えている。

以上